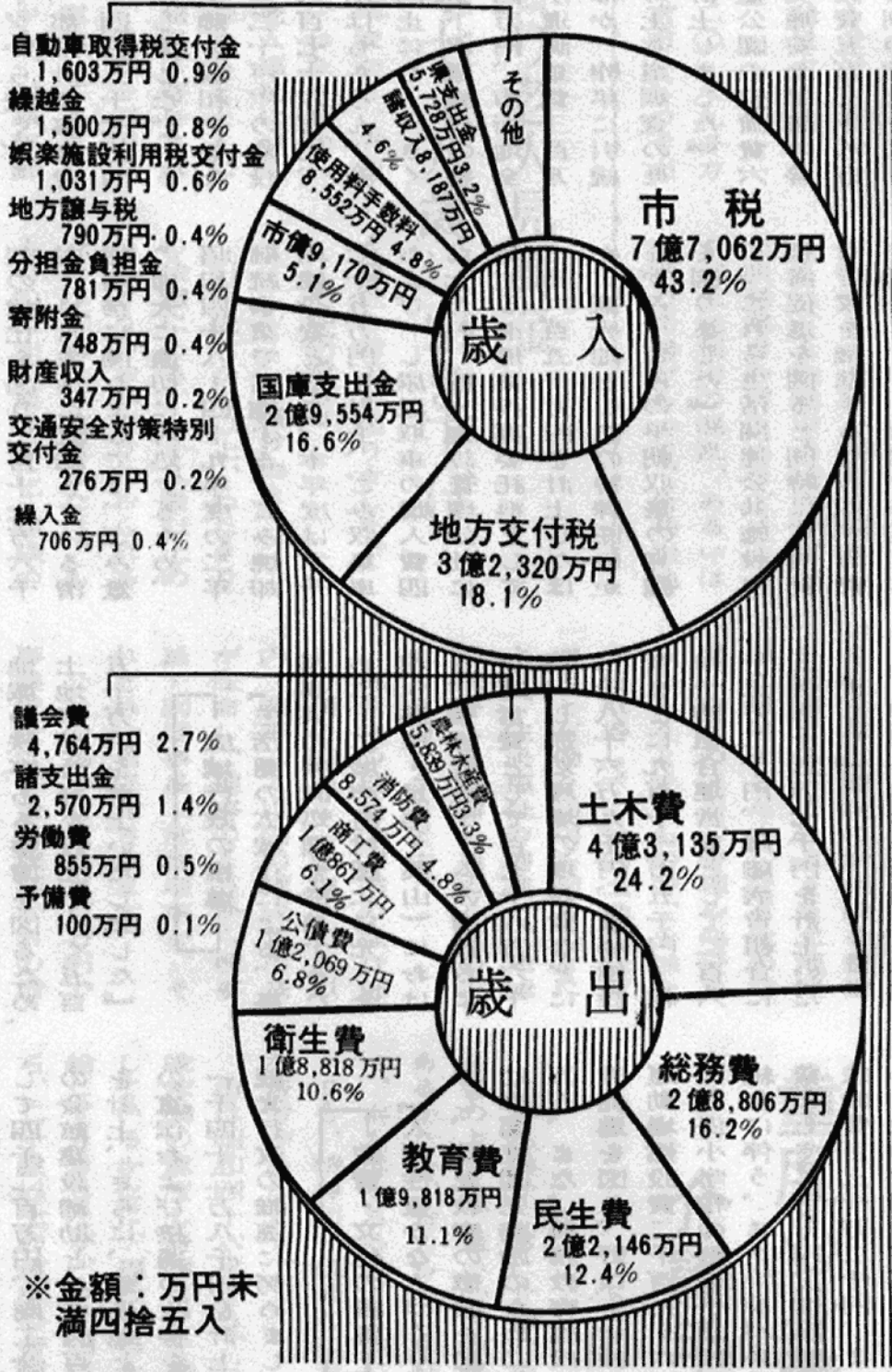


昭和48年度一般会計予算の内訳 総額17億8,354万5,000円



※金額：万円未満四捨五入

るため、同特別会計の当初予算が、四・五月の二か月間のみの予算規模であるため、市は、現在、関係庁および機関に対して、本税の徴収期間の延長を強力に働きかけています。

一般会計の歳入予算を、前年度と比較してみますと、主財源である市税が、前年度当初予算の二〇・七%にあたる、一億三千万円の増収が見込まれています。そのほか、大幅な増額が見込まれているものとして、国庫支出金と地方交付税が、いずれも前年度より約九千五百万円の増額、市債も約六千四百万円の増額を見込んでいます。

心身障害者・老人などの福祉対策

「全国にまだ例をみない、重度心身障害者に対する介護手当の支給を実施するほか、新たに、重度心身障害者に対する医療費の無料化を図り、二百九万七千円を計上、また、ねたきり老人に対する見舞金受給年齢を、八十歳から七十八歳に引き下げるほか、老人に対する日用品の給

重点施策について

付、老人介護人の派遣および、老人医療費の受給資格範囲を拡げるなど、四千六百二十八万九千円を計上いたしました。更に、児童手当扶助として一千五百三十万円の、零歳児に対する医療扶助四百三十二万円の、母子保健の向上のため、妊産婦に対する医療費の無料化を図るための経費四百九十八万二千円を計上するなど、幅広い福祉施策を行ない、経済成長の陰にあって、なおざりにされがちな人々の、生活の向上にとめました。

「昭和三十八年度の民生費は、約二億二千万円で、前年度予算に比し、五千九百万円増額されました。」

安全で住みよい環境づくり

「観光客の利用する車の量は経年的に増加しつつあり、これによる交通渋滞を解消するため、大谷川左岸駐車場（ユースホステル）建設工事費として二百万円、同駐車場に通じる都市計画街路整備費三千二百万円、日光宇都宮道路のインターへの取付道路に三千万円を計上、生活道路などの整備に七千二百四十万円を計上したほか、区画整理事業における第二工区の上

- ◇議案第八号 市営住宅管理条例の一部改正 所野第二団地に新設した市営住宅の、家賃を規定するなどのための条例改正です。
- ◇議案第九号 国民健康保険条例の一部改正 保険料の賦課限度額の改正で詳細は八ページに掲載。
- ◇議案第十号 老人医療費助成に関する条例の一部改正 (詳細六ページに掲載)
- ◇議案第十一号 ねたきり老人見舞金条例の一部改正 見舞金受給資格が八十歳から七十八歳以上に引き下げられました。(詳細五ページに掲載)
- ◇議案第十二号、十三号 日光市公園条例と市営体育施設条例の一部改正 市営のスポーツ施設を、児童生徒に無料で開放しようとするもので、詳細は七ページに掲載
- ◇議案第十四号 日光市消防団条例の一部改正 消防団員の報酬引き上げのため、条例が改正されました。
- ◇議案第十五号 日光市土地開発公社の設立 (詳細五ページに掲載)
- ◇議案第十六号 栃木県都市競輪組合への加入 (詳細五ページに掲載)
- ◇議案第十七号、二十二号 昭和四十七年度一般会計および特別会計の補正予算 文化観光施設整備事業費への繰入金一千二百五十万円、国民健康保険費への繰入金四百五十万円、水道事業会計への繰入金五百万円などの予算補正が行なわれました。
- ◇議案第二十三号、三十号 昭和四十八年度一般会計および特別会計の当初予算 一般会計および国民健康保険費など七つの特別会計、合わせて約二十二億円の、新年度予算が議決されました。(詳細は二ページ、五ページ)
- ◇諮問第一号 人権擁護委員の推せんにつき意見を求めることについて 本市選出の人権擁護委員である斎藤安次郎、佐藤ヒロ尚氏の任期が満了となったので、両氏の再任を推せんすることについて同意を得ました。(斎藤安次郎氏)昭和二十六年、民生委員に就任(現在に至る)。四十一年、人権擁護委員に就任(現在に至る)。現日光市自治連合副会長。現住所、匠町四の二、六十二歳。(佐藤ヒロ氏)昭和三十四年精鋼所新生活運動推進協議会事務局指導員に就任(現在に至る)。四十一年、人権擁護委員に就任(現在に至る)。現住所、清滝丹勢町六一〇。四十八歳。